

算数①何十÷何のわり算のしかたを考えよう（教科書P37・P38対応）

<ふく習>

【問題】18まいの色紙を3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになりますか。

<式>3のだんのかけ算で考えるんだっだね。3×6=18だから...

$$18 \div 3 = 6$$

<答え>1人ぶんは 6まい

【問題】59まいの色紙を8人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいで、何まいあまりますか。

<式>8のだんのかけ算で考えるんだっだね。8×7=56、8×8=64だから...

$$59 \div 8 = 7 \text{ あまり } 3$$

<答え>1人ぶんは 7まい で 3まい あまる

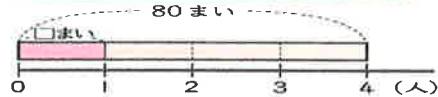
○教科書P36の問題に取り組みましょう。

1 80まいの色紙を、4人で同じ数ずつ分けます。1人分は何まいになりますか。

<式>

$$80 \div 4 = 20$$

全部のまい数 ÷ 分ける人数 = 1人分のまい数



<考え方>

【しほ】

上の図を見ると、1人分は (4) 等分した1つ分だから (80) を (4) でわればいいね。

【はると】

1人分を□まいとすると、□×4=80

$$\begin{aligned} \square &= 80 \div 4 \\ &= 20 \end{aligned}$$

【こうた】

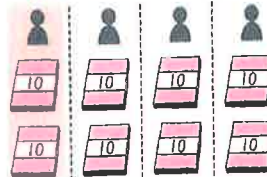
(1人分) のまい数をもとめるから、(全部) のまい数を分ける人数で (わる) といいいね。まず、80まいを10まいのたば (8) つ分で考え、4人で同じ数ずつ分けると

<考え方の式>

$$\begin{aligned} 8 \div 4 &= 2 \\ \downarrow 10 \text{ が } 8 \text{ つ} & \quad \downarrow 10 \text{ が } 2 \text{ つ} \end{aligned}$$

<式>

$$80 \div 4 = (20)$$



<答え>  
1人ぶんは 20まい

○600÷3の計算の仕方を考えよう。

まず、600を(100)が6つと考えると

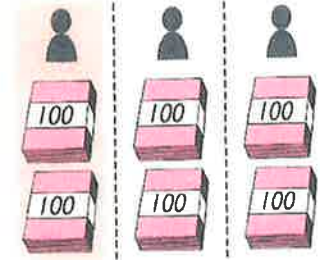
<考え方の式>

$$6 \div 3 = 2$$

↓100が6つ     ↓100が2つ

<式>

$$(600) \div (3) = (200)$$



【まとめ】

何十÷何、何百÷何のようなわり算は、(10)や(100)をもとにして考えれば、(商)を求めることができる。

○教科書P38の木の1と2の問題をしましょう。(ほじゅうの問題にもチャレンジ)

○今回の学習で思ったこと(気を付けたいこと)を書きましょう。

【学習した日時】 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分

番 名前

算数②何十何÷何のわり算のしかたを考えよう（教科書P39・P40対応）

1 72まいの色紙を、3人で同じ数ずつ分けます。  
1人分は何まいになりますか。



<式>

$$72 \div 3 = 24$$

<答え>

1人分は 24まい。

<考え方>

【しほ】

( 10 ) のたばと、ばらに分けて考えました。

①はじめに、10のたばを3人で分ける。



$$( 7 ) \div 3 = ( 2 ) \text{ あまり } ( 1 )$$

10が7つ      10が2つ      10が1つ

これで、まずは1人20まいだね。

②のこりの10とばら2で ( 12 ) まい。  
12まいを3人で分ける。

$$( 12 ) \div 3 = ( 4 )$$

さらに、1人分4まいがふえたね。

$$20 + 4 = ( 24 )$$

答えは1人分は 24まい。

おりくさんの考え方で72÷4の計算をしてみよう。

$$10 \times 4 = 40 \quad 40 < 72$$

$$20 \times 4 = 80 \quad 80 > 72 \quad \text{だから}$$

まず、40まいを4人で分ける

$$( 40 ) \div 4 = ( 10 )$$

のこりは

$$72 - 40 = ( 32 ) \text{ で } ( 32 ) \text{ まい。}$$

32まいを4人で分ける。

$$( 32 ) \div ( 4 ) = ( 8 )$$

①+②

$$( 10 ) + ( 8 ) = ( 18 )$$

【りく】

①わられる数の ( 72 ) より小さくて、わる数の ( 3 ) でわりきれ何十の数をさがしました。

○1人分が10まいだと⇒分けられる

$$10 \times 3 = 30 \quad 30 < 72$$

のこりが42まいあるので、まだ分けられるね。

○1人分が20まいだと⇒分けられる

$$20 \times 3 = 60 \quad 60 < 72$$

のこりが12まいあるので、まだ分けられるね。

○1人分が30まいだと⇒分けられない

$$30 \times 3 = 90 \quad 90 > 72$$

72まいしかないのに90まい必要だから、分けられないね。

まず、60まいを3人で分ける。

$$( 60 ) \div 3 = ( 20 )$$

これで、まずは1人20まいだね。

②のこりは

$$( 72 ) - 60 = ( 12 ) \text{ で } 12 \text{ まい。}$$

12まいを3人で分ける。

$$( 12 ) \div 3 = ( 4 )$$

さらに、1人分4まいがふえたね。

$$20 + 4 = ( 24 )$$

答えは1人分は 24まい。

【学習した日時】

月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分

番 名前

算数③わり算の筆算のしかたをおぼえよう (教科書P41対応)

わり算の筆算は、位ごとに計算するのがポイントです。計算の順番や数字を書く場所をしっかりとおぼえ、正しく筆算で計算できるようになりましょう。

十の位の計算

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 72} \end{array}$$

- ① わられる数の十の位の数7をわる数3でわる。  
 $7 \div 3 = 2$  あまり1  
 この計算の商2を、わられる数の十の位の上に書く。(十の位に**たてる**)  
 この2は、10が2こあるということですね。

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 72} \\ 6 \end{array}$$

- ② わる数3と、①でたてた2をかける  
 $3 \times 2 = 6$   
 この計算の積(かけ算の答え)6をわられる数の十の位の下に書く。  
 この6は、10が6こあるということですね。

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 72} \\ 6 \\ \hline 1 \end{array}$$

- ③ わられる数の十の位の数7と、②の計算の積6をひく  
 $7 - 6 = 1$  ※たし算をしないように注意!!  
 この計算の差(ひき算の答え)1を書く。  
 この1は、10が1こあるということですね。

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{) 72} \\ 6 \\ \hline 12 \end{array}$$

- ④ わられる数の一の位の数2を③で計算した差のとなり(一の位の場所)に書く。(一の位をおろす) ※同じ数を書くこと  
 十の位の計算はここで終わり。  
 今のままだと  
 $72 \div 3 = 2$  あまり12  
 ということになるね。

$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 72} \\ 6 \\ \hline 12 \end{array}$$

- ⑤ 十の位の計算でもとめた数12をわる数3でわる。  
 $12 \div 3 = 4$   
 この計算の商4をわられる数の一の位の上に書く。(一の位に**たてる**)

$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 72} \\ 6 \\ \hline 12 \\ 12 \end{array}$$

- ⑥ わる数3と⑤でたてた4をかける。  
 $3 \times 4 = 12$   
 この計算の積を書く。

$$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{) 72} \\ 6 \\ \hline 12 \\ 12 \\ \hline 0 \end{array}$$

- ⑦ 線を引き、ひき算(ひく)をして差を出して終わりです。

一の位の計算

○筆算で計算したら、答えをたしかめるために「けん算」をしましょう。

わられる数÷わる数=商 ⇒ わる数×商=わられる数

$$72 \div 3 = 24 \quad 3 \times 24 = 72$$

○教科書P41木の1の問題をしましょう。

○今回の学習で思ったこと(気を付けたいこと)を書きましょう。

【学習した日時】 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分

番 名前

算数④あまりのあるわり算の筆算をしよう。(教科書P42・P43対応)

2 76まいの色紙を、3人で同じ数ずつ分けます。  
1人分は何まいになって、何まいあまりますか。

○筆算をしよう

$$\begin{array}{r} 25 \\ 3 \overline{) 76} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{15} \\ 1 \end{array}$$

式  $76 \div 3 = 25 \text{ あまり } 1$

① けん算をしましょう。

$$\begin{array}{l} 76 \div 3 = 25 \text{ あまり } 1 \\ 3 \times 25 + 1 = 76 \\ \text{わる数} \times \text{商} + \text{あまり} = \text{わられる数} \end{array}$$

答え 1人分は 25 まいになって、 1 まいあまる。

○まちがっている理由をかくにんしよう。

2  $14 \div 3 = 4 \text{ あまり } 2$        $10$  このたばは

↓ だから      ↓  $9 \div 4 = 2 \text{ あまり } 1$

$3 \overline{) 74}$        $4 \overline{) 94}$

$\underline{6}$        $\underline{8}$  ← 4がたつ       $\underline{8}$  ← 2たばとれる

$\underline{14}$        $\underline{54}$

$\underline{9}$        $\underline{36}$

$\underline{5}$  ← まだわれる       $\underline{18}$  ← まだわれる

○教科書P43木の3・4・5の問題をしましょう。(ほじゅうの問題にもチャレンジ)

○今回の学習で思ったこと(気を付けたいこと)を書きましょう。

【学習した日時】 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分

番 名前

算数⑤あまりのあるわり算の筆算をしよう。② (教科書P44対応)

① 十の位の計算のときの注意点

② 一の位はぜったいに空かない

①  $86 \div 2$       ②  $62 \div 3$

8-8=0の0は書かない。      6-6=0の0は書かない。

0を書くのをわすれないように。

2は3でわれない。商の一の位は0になる。

○まちがっている理由をかくにんしよう。

6 どこがまちがっているのかな?

この4は、10のたばが4つのこと。

$2 \overline{) 81}$

4

8

1

答えは、4あまり1です。

1は2でわれない。商の一の位は0になる。商の一の位に0を書かなければいけない。

正しい答えは、40あまり1です。

$$\begin{array}{r} 40 \\ 2 \overline{) 81} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 10 \\ \underline{10} \\ 1 \end{array}$$

○教科書P44木の7・8・9・10の問題をしましょう。(ほじゅうの問題にもチャレンジ)

○今回の学習で思ったこと(気を付けたいこと)を書きましょう。

【学習した日時】 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分

番 名前